

8 徹なら清掃のときより低い！TTS プロパー外勤

1ヶ月と3週間で現場見習い！？安全はどうなる？

今月から、TTSのプロパー3人が籠原構内運転手として乗務を始めた。彼らの給与が余りにも低い。基本給は149500円。第二基本給が42000円。運転資格手当が15000円で、合計206500円。これに夜勤割増、家族持ちなら扶養手当がつくが、手取りは20万もいかない。10徹やってカツカツ。8徹ならば清掃のときよりも悪い。

そればかりか、教育期間が余りにも短く、安全上問題がある。何かあったら、会社は責任をとらない。現場のミスにして労働者の責任に押しつける。ろくに手間暇かけて教えない癖に、事故ったら責任とられ、処分されるのではたまったものじゃない！

安全崩壊の責任を現場労働者に押し付けるな！

かつて運転士は、誘導係1年半、検修で1年半と電車の動作に慣れ親しんだ上で、鉄道学園で半年教育を受け、その後現場で半年見習いをやって一人前とされたものだ。

JR北海道では、構内入換は05年4月以降「北海道ジェイ・アール運輸サポート」に委託され、昨年秋段階で構内運転士の4割がJRからの出向者ではなく同社のプロパー社員に置き換わった。安全は形だけのものとなり、利益優先で安全は崩壊した。そしてデータ改ざんが暴露されると検査データ改ざんの責任を23歳の青年労働者と59

歳の退職間際の労働者に押し付け懲戒解雇した。

外注化がどんな事故を引き起こそうと、経営者は絶対に責任を取らない。青年労働者はじめ現場に責任を転嫁してくる。北海道の現実には他人ごとではない。動労千葉は、「このままでは鉄道140年の歴史の中で築いてきた安全が崩壊する」「プロパー採用の仲間たちを犠牲にしてはならない」と5月2日ストライキに立ちあがった。鉄道の安全と働く仲間を守る闘いだ。

被曝拒否！労働者と住民を守るため闘う動労水戸

動労水戸は10日、常磐線の広野-竜田駅間の運行再開に反対するストを闘った。まだ放射線量が高い汚染地域で、なぜ政府とJRは運行を再開するのか？住民に帰還を強制し原発事故にふたをし、原発再稼働の流れを作り出し、原発輸出も強行するためだ。そんな目的のために鉄道労働者と住民に被曝を強制し犠牲にすることなど許せない。動労水戸は、JRの6・1運行再開-竜田延伸に5月30日-31日と再度ストライキで闘おうとしている。共に闘おう！

5月30日

国鉄高崎動力車連帯労働組合

No120

(連絡先：048-722-7107 fax 共)